

# 財務報告書 2020

令和元事業年度

平成31年4月1日～令和2年3月31日



---

北海道公立大学法人札幌医科大学

---

# 目次

1. 財務概要	…P1
2. 令和元事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P21
(2) 損益計算書	…P24

## ○財務概要

### 資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は令和元年度末における財務状態を表したものです。  
 「資産」は前年度比68億円増加の567億円、「負債」は前年度比1億円増加の145億円、また「純資産」は前年度比67億円増加の422億円となっています。

### 貸借対照表

【令和2年3月31日】

(単位：億円)

区分	30年度	元年度	増減
<b>資産の部</b>	499	567	68
【固定資産】	400	476	76
① 土地	115	119	4
② 建物等	208	281	73
③ 備品	65	65	0
図書	9	9	0
その他固定資産	3	2	▲1
【流動資産】	99	91	▲8
④ 現金・預金	38	33	▲5
有価証券	0	0	0
⑤ その他流動資産	61	58	▲3
<b>資産合計</b>	499	567	68

区分	30年度	元年度	増減
<b>負債の部</b>	144	145	1
⑥ 資産見返負債	23	26	3
借入金	16	16	0
⑦ 未払金	48	48	0
寄附金債務	11	10	▲1
その他負債	46	45	▲1
<b>純資産の部</b>	355	422	67
⑧ 資本金	353	438	85
資本剰余金	▲37	▲47	▲10
⑨ 利益剰余金	39	31	▲8
<b>負債・純資産合計</b>	499	567	68

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

### 主な増減内容は次のとおりです。

#### 資産の部

##### ①土地：119億円（4億円増加）

・土地は119億円で、旧市道西17丁目線（緑道）の出資に伴い増加しています。

##### ②建物等：281億円（73億円増加）

・建物等は、附属病院西病棟及び教育研究施設Ⅲの出資に伴い増加しています。

##### ③備品：65億円（昨年度同額）

・備品65億円は、取得価格250億円から減価償却累計額185億円を控除した額です。

##### ④現金・預金：33億円（5億円減少）

・現金・預金は33億円で、昨年度より5億円の減となっています。

##### ⑤その他流動資産：58億円（3億円減少）

・主なものは、健康保険等の保険者から後日入金される未収附属病院収入が48億円で、1億円の減となっています。

#### 負債の部

##### ⑥資産見返負債：26億円（3億円増加）

・資産見返負債は26億円で、資産を購入したことによる減価償却費です。

##### ⑦未払金：48億円（昨年度同額）

・未払金の内訳は、1年以内支払分リース債務及び4月以降に支払う物件費等です。

#### 純資産の部

##### ⑧資本金：438億円（85億円増加）

・旧市道西17丁目線（緑道）、附属病院西病棟及び教育研究施設Ⅲの出資に伴い、85億円の増となっています。

##### ⑨利益剰余金：31億円（8億円減少）

・内訳は、繰越積立金32億円及び令和元年度当期未処理損失1億円です。

## 費用・収益の状況

「損益計算書」は令和元年度の運営状況（経営成績）を表したものです。  
 「経常費用」は前年度比15億円増加の360億円、「経常収益」は前年度比14億円増加の357億円です。  
 この差額に臨時損益及び繰越積立金取崩を加えた当期総利益は、前年度比6億円減少の▲1億円です。

### 損益計算書

【平成31年4月1日～令和2年3月31日】

(単位：億円)

区分	30年度	元年度	増減
① 教育・研究等経費	23	21	▲ 2
② 診療経費	157	171	14
③ 受託研究・事業費	4	4	0
④ 人件費	156	158	2
一般管理費	5	6	1
財務費用	0	0	0
<b>経常費用</b>	<b>345</b>	<b>360</b>	<b>15</b>
臨時損失	1	1	0
<b>当期総利益</b>	<b>5</b>	<b>▲ 1</b>	<b>▲ 6</b>
計	351	360	9

区分	30年度	元年度	増減
⑤ 運営費交付金収益	66	65	▲ 1
⑥ 附属病院収益	250	265	15
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	12	11	▲ 1
⑦ 補助金収益	1	2	1
その他収益	6	6	0
<b>経常収益</b>	<b>343</b>	<b>357</b>	<b>14</b>
臨時利益	5	1	▲ 4
繰越積立金取崩	3	2	▲ 1
計	351	360	9

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

#### 経常費用

##### ①教育・研究等経費：21億円（2億円減少）

・ 移転改修に伴う教育経費の減

##### ②診療経費：171億円（14億円増加）

・ 医薬材料費の増  
 ・ 減価償却費の増  
 ・ 各種委託費の増

##### ③受託研究・事業費：4億円（昨年度同額）

##### ④人件費：158億円（2億円増加）

・ 給与改定等に伴う給与額の増  
 ・ 退職手当の増

#### 経常収益

##### ⑤運営費交付金収益：65億円（1億円減少）

・ 運営費交付金の受入額の減

##### ⑥附属病院収益：265億円（15億円増加）

・ 診療単価等の上昇に伴う診療収入の増

##### ⑦補助金収益：2億円（1億円増加）

・ 補助事業の増に伴う収益化額の増加

##### ⑧繰越積立金取崩：2億円：（1億円減少）

・ 移転に伴う改修工事及び医療機器修繕等

# ○令和元年度財務諸表の要約

## 貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	47,602
1	有形固定資産	47,434
	土地	11,881
	建物	27,277
	構築物	853
	工具器具備品	6,524
	図書	857
	その他	42
2	無形固定資産	120
	特許権	23
	ソフトウェア	63
	その他	34
3	投資その他の資産	48
	投資有価証券	0
	未収財源措置予定額	0
	その他	48
II	流動資産	9,107
	現金及び預金	3,306
	未収学生納付金収入	1
	未収附属病院収入	4,778
	有価証券	0
	医薬品及び診療材料	481
	たな卸資産	11
	未収入金	517
	その他	13
	<b>資産合計</b>	<b>56,709</b>
<b>運用状況</b>		

負債の部		
I	固定負債	7,474
	資産見返負債	2,632 ※1)
	長期寄附金債務	418
	長期借入金	1,608
	引当金	0
	長期未払金	2,816
	資産除去債務	0
II	流動負債	7,025
	運営費交付金債務	47
	寄附金債務	1,028 ※2)
	前受受託研究費等	305
	1年以内返済長期借入金	610
	未払金	4,805 ※3)
	その他	230
	<b>負債合計</b>	<b>14,499</b>

純資産の部		
I	資本金	43,825 ※4)
II	資本剰余金	▲ 4,735 ※5)
III	利益剰余金	3,120
	前中期目標等期間繰越積立金	3,263 ※6)
	目的積立金	0
	積立金	0
	当期末処理損失	▲ 143
	<b>純資産合計</b>	<b>42,210</b>
	<b>負債・純資産合計</b>	<b>56,709</b>
<b>調達源泉</b>		

【流動資産】  
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】  
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】  
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】  
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】  
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。  
当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。  
当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。

# 損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用	<b>経常費用</b>	36,021	
	業務費	35,464	
	教育経費	457	
	研究経費	1,237	
	診療経費	17,120	
	教育研究支援経費	428	※1)
	受託研究費	239	
	共同研究費	86	
	受託事業費等	80	
	人件費	15,817	
一般管理費	554		
財務費用	3	※2)	
収益	<b>経常収益</b>	35,682	
	運営費交付金収益	6,511	
	授業料等収益	792	
	附属病院収益	26,509	
	受託研究収益	256	
	共同研究収益	100	
	受託事業等収益	112	
	寄附金収益	667	
	施設費収益	16	
	補助金収益	150	
	資産見返負債戻入	285	※3)
	財務収益	1	
	雑益	283	
<b>経常利益</b>	▲ 339		
臨時損失	65		
臨時利益	62		
<b>当期純利益</b>	▲ 342		
前中期目標等期間繰越積立金取崩額	199	※4)	
<b>当期総利益</b>	▲ 143		

## 【業務費】

- ・ 目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・ 「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・ 「受託研究費」「共同研究費」「受託事業費等」は、受託研究等に係る人件費を含む

## 【経常収益】

- ・ 「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
- ・ 「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

## 【臨時損失】

- ・ 臨時損失は、固定資産の除却を計上

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

(償還利率 ②6)0.35%、②7)0.35%、②8)0.125%、②9)0.125%、③0)0.01%及び0.1%、①)0.001%及び0.125%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

※4) 前中期目標期間繰越積立金取崩額～前中期目標期間繰越積立金を財源とした費用相当額を計上します。

令和元年度においては、移転に伴う改修工事及び医療機器修繕等に充当しています。

## キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

<b>I 業務活動によるキャッシュフロー</b>	1,137
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 17,621
人件費	▲ 15,914
その他の業務支出	▲ 530
運営費交付金収入	6,673
授業料収入	648
入学金収入	80
検定料収入	13
附属病院収入	26,648
受託研究収入	282
共同研究収入	136
受託事業等収入	111
補助金等収入	107
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 5
寄附金収入	661
預り科学研究費補助金等増減	22
その他収入	285
設立団体納付金の支払額	▲ 459
<b>II 投資活動によるキャッシュフロー</b>	▲ 760
有価証券の取得による支出	▲ 348
有価証券の償還による収入	348
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,435
無形固定資産の取得による支出	▲ 7
定期の預入による支出	▲ 1,500
定期の払出による収入	1,500
施設費による収入	681
利息及び配当金の受領額	1
<b>III 財務活動によるキャッシュフロー</b>	▲ 863
長期借入れによる収入	634
長期借入金返済による支出	▲ 609
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 885
利息の支払額	▲ 3
<b>IV 資金に係る換算差額</b>	-
<b>V 資金増加額 (I+II+III+IV)</b>	▲ 486
<b>VI 資金期首残高</b>	3,793
<b>VII 資金期末残高 (V+VI)</b>	3,306

【業務活動】  
教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 11億円

【投資活動】  
固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲7億円

【財務活動】  
借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲9億円

令和元年度キャッシュ増加額  
▲5億円

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

# 行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

<b>I 業務費用</b>	7,311
(1) 損益計算書上の費用	36,088
業務費	35,466
一般管理費	554
財務費用	3
臨時損失	65
(2) (控除) 自己収入等	▲ 28,777
授業料収益・入学金収益・検定料収益	▲ 792
附属病院収益	▲ 26,510
受託研究等収益	▲ 256
共同研究収益	▲ 100
受託事業等収益	▲ 112
寄附金収益	▲ 667
資産見返運営費交付金等戻入	—
資産見返寄附金戻入	▲ 101
財務収益	▲ 1
雑益	▲ 176
臨時利益	▲ 62
<b>II 損益外減価償却相当額</b>	1,427
<b>III 損益外減損損失相当額</b>	11
<b>IV 損益外利息費用相当額</b>	▲ 26
<b>V 損益外除売却差額相当額</b>	▲ 42
<b>VI 引当外賞与増加見積額</b>	24
<b>VII 引当外退職給付増加見積額</b>	▲ 74
<b>VI 機会費用</b>	1,253
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	1,251 ※1)
・地方公共団体出資の機会費用	2 ※2)
<b>VII (控除) 設立団体納付金</b>	—
<b>VIII 行政サービス実施コスト</b>	9,884

道からの財源で賄われているコスト

・損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの

(1) 損益計算書の費用：361億円

(2) (控除) 自己収入等：288億円

業務費用：73億円

損益計算書に計上されていないコスト：13億円

・道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額

免除もしくは軽減されているコスト：13億円

・道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額

行政サービス実施コスト：99億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法：

近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：

令和2年3月末における10年国債の利回りがマイナスとなったため、0%を利率としています。

## 損失の処理に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

<b>I 当期末処理損失</b>	143
当期総損失	143
<b>II 損失処理額</b>	143
積立金取崩額	143

- ・ 地方独立行政法人会計基準により、当期末処理損失は積立金を減額して整理します。

## 決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
<b>収入</b>	<b>36,732</b>	<b>36,823</b>	<b>91</b>	
運営費交付金	6,971	6,673	▲ 298	(※1)
施設整備費補助金	375	372	▲ 3	(※2)
自己収入	27,729	27,827	98	
授業料及び入学検定料収入	805	792	▲ 13	(※3)
附属病院収入	26,486	26,509	23	(※4)
雑収入	438	526	88	(※5)
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,000	1,118	118	(※6)
長期借入金収入	657	634	▲ 23	(※7)
繰越積立金取崩収入	—	199	199	(※8)
<b>支出</b>	<b>36,732</b>	<b>36,979</b>	<b>247</b>	
業務費	34,104	34,493	389	
教育研究経費	1,618	1,553	▲ 65	(※9)
診療経費	15,922	16,595	673	(※10)
人件費	15,972	15,817	▲ 155	(※11)
一般管理費	592	528	▲ 64	(※12)
施設整備費	1,032	1,006	▲ 26	(※13)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	983	867	▲ 116	(※14)
長期借入金償還金	613	613	0	
<b>収入－支出</b>	<b>0</b>	<b>▲ 156</b>	<b>▲ 156</b>	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 北海道との協議により運営費交付金を減額したため、予算額に比して決算額が298百万円減少しました。
- ※2) 入札結果に基づく契約確定額の減等により、予算額に比して決算額が3百万円減少しました。
- ※3) 大学院入学者数の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が13百万円減少しました。
- ※4) 外来単価の上昇等により、予算額に比して決算額が23百万円増加しました。
- ※5) 新たな補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が88百万円増加しました。
- ※6) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が118百万円増加しました。
- ※7) 病院既存棟改修工事の工程変更に伴う移転費用が減額したため、予算額に比して決算額が23百万円減少しました。
- ※8) 突発的な医療機器修繕等への対応のため、予算計上していなかった繰越積立金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が199百万円増加しました。
- ※9) 各種経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が65百万円減少しました。
- ※10) 医薬材料費比率の上昇等により、予算額に比して決算額が673百万円増加しました。
- ※11) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が155百万円減少しました。
- ※12) 各種経費の節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が64百万円減少しました。
- ※13) 注2、注7に示した理由により、予算額に比して決算額が26百万円減少しました。
- ※14) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が116百万円減少しました。

## ○過去6年間の推移

### 財務情報一覧

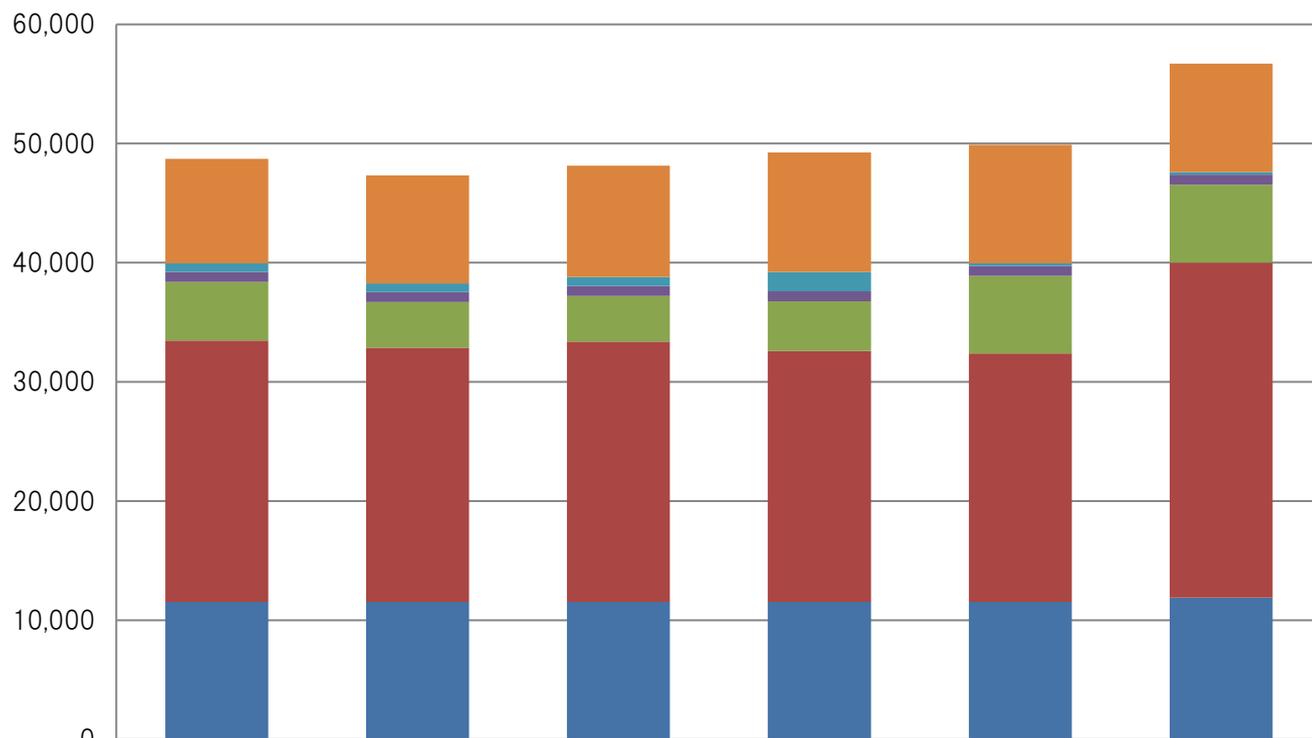
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	487	473	481	492	499	567	P10 ～ P11
		うち固定資産	400	382	388	392	400	476	
		負債	121	114	118	135	144	145	
		うち借入金	13	13	13	17	16	16	
		純資産	366	359	363	357	355	422	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	319	325	324	335	345	360	P12 ～ P13
		うち人件費	150	154	152	156	156	158	
		経常収益	320	326	326	337	343	357	
		うち運営費交付金	59	61	59	62	66	65	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	1	1	0	1	5	▲1	P14
		目的積立金	1	1	0	1	-	-	
		繰越積立金	-	-	-	-	-	▲1	
		積立金	-	-	-	-	5	-	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	236	240	243	249	260	276	P15
		業務収益	236	240	243	249	257	272	
		業務利益	0	0	0	0	▲3	▲4	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	20	24	12	15	14	11	P16
		投資活動	▲3	▲13	▲6	▲9	▲11	▲7	
		財務活動	▲7	▲7	▲6	▲3	▲8	▲9	
		資金期末残高	37	41	40	43	38	33	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	86	85	87	93	112	99	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

## 資産

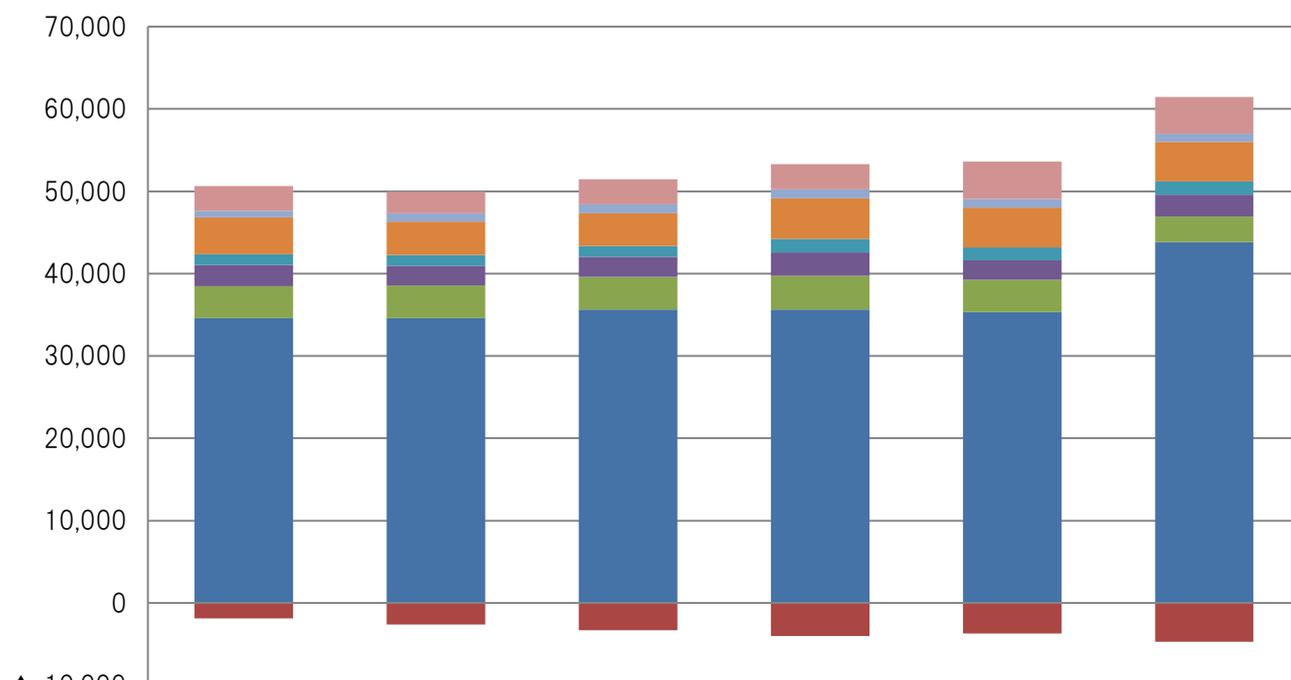


	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
流動資産	8,763	9,060	9,343	10,032	9,921	9,107
その他	744	749	753	1,623	224	210
図書	834	839	843	850	854	857
設備	4,901	3,830	3,818	4,138	6,509	6,524
建物	21,930	21,310	21,839	21,071	20,839	28,130
土地	11,544	11,544	11,535	11,535	11,535	11,881

(単位：百万円)

区分	元年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	16.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金、有価証券（1年以内）</li> <li>・未収附属病院収入</li> <li>・未収学生納付金収入</li> <li>・病院医薬品在庫</li> </ul>	▲ 814	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現預金減▲487</li> <li>・保険者へ請求中の額の減に伴う未収減▲113</li> <li>・病院医薬品等の在庫増64</li> <li>・未収入金減▲261</li> </ul>
固定資産	図書等	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特許権</li> <li>・長期貸付金</li> </ul>	▲ 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期貸付金増4</li> <li>・無形固定資産減▲22</li> </ul>
		図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍</li> <li>・CD-ROM</li> <li>・雑誌（製本済みのもの）</li> </ul>	3	・図書等取得による増3
	設備建物	設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験、診療器具</li> <li>・車両運搬具</li> </ul>	15	・工具器具備品取得による増15
		建物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、研究所</li> <li>・病院</li> <li>・宿舎、学生寮</li> <li>・ファミリーハウス</li> </ul>	7,291	・道からの施設出資に伴う増8,151
	土地	土地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の敷地</li> <li>・グラウンド</li> </ul>	346	・道からの土地出資に伴う増345

## 負債・純資産

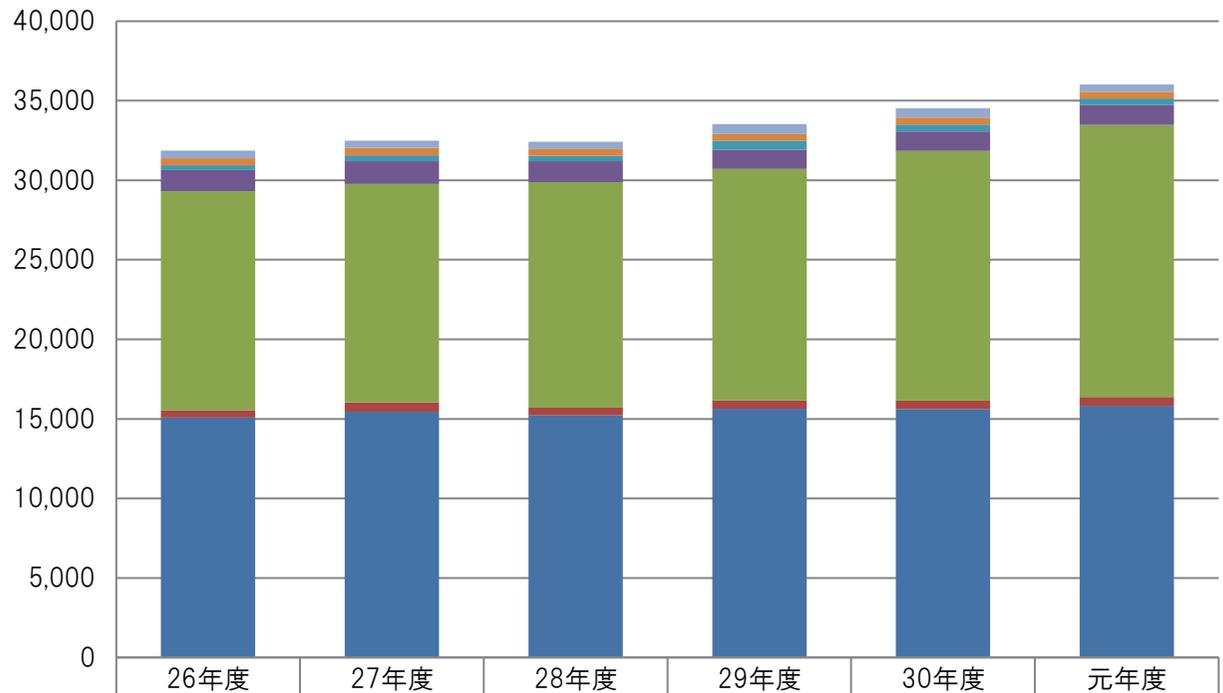


	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
▲ 10,000						
■ その他債務	2,999	2,629	3,032	3,048	4,541	4,426
■ 寄附金債務	776	998	1,107	1,066	1,053	1,028
■ 未払金	4,506	4,042	3,979	4,945	4,837	4,805
■ 借入金	1,300	1,300	1,300	1,659	1,583	1,608
■ 資産見返負債	2,563	2,409	2,426	2,821	2,334	2,632
■ 利益剰余金	3,884	3,974	3,982	4,105	3,922	3,120
■ 資本剰余金	▲ 1,897	▲ 2,605	▲ 3,330	▲ 4,029	▲ 3,716	▲ 4,735
■ 資本金	34,585	34,585	35,635	35,635	35,328	43,825

(単位：百万円)

区分	元年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他負債	その他債務	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	▲ 115	・長期未払金の減▲143 ・資産除去債務の減▲116 ・運営費交付金債務の増47 ・受託等債務の増72
		寄附金債務	・繰越して使用予定の寄附金	▲ 25	・寄附金債務の減▲25
		未払金	・令和2年4月支払の経費	▲ 32	・4月以降支払予定の未払金 (工事、工事器具備品等)の減
		借入金	・大学病院の借入金残高 (機器整備)	25	・北海道からの借入金の増25
		資産見返負債	・建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を 除いた残高	298	・道からの承継資産償却額の増235 ・補助金財源償却額の減▲44 ・寄附金財源の購入に伴う増91
純資産	利益剰余金	・目的積立金(29年度末分) ・繰越積立金(第1期分) ・未処分利益(当期総利益)	▲ 802	・当期総利益▲143 ・繰越積立金の取崩し▲199 ・道への返還▲460	
	資本剰余金	・施設費や目的積立金による固定 資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	▲ 1,019	・施設整備等による増329 ・減価償却費等の増▲1,348	
	資本金	・法人移行時に道から土地・建物 等の現物で受けた出資金	8,497	・道からの土地・建物出資に伴う増 8,497	

## 経常費用

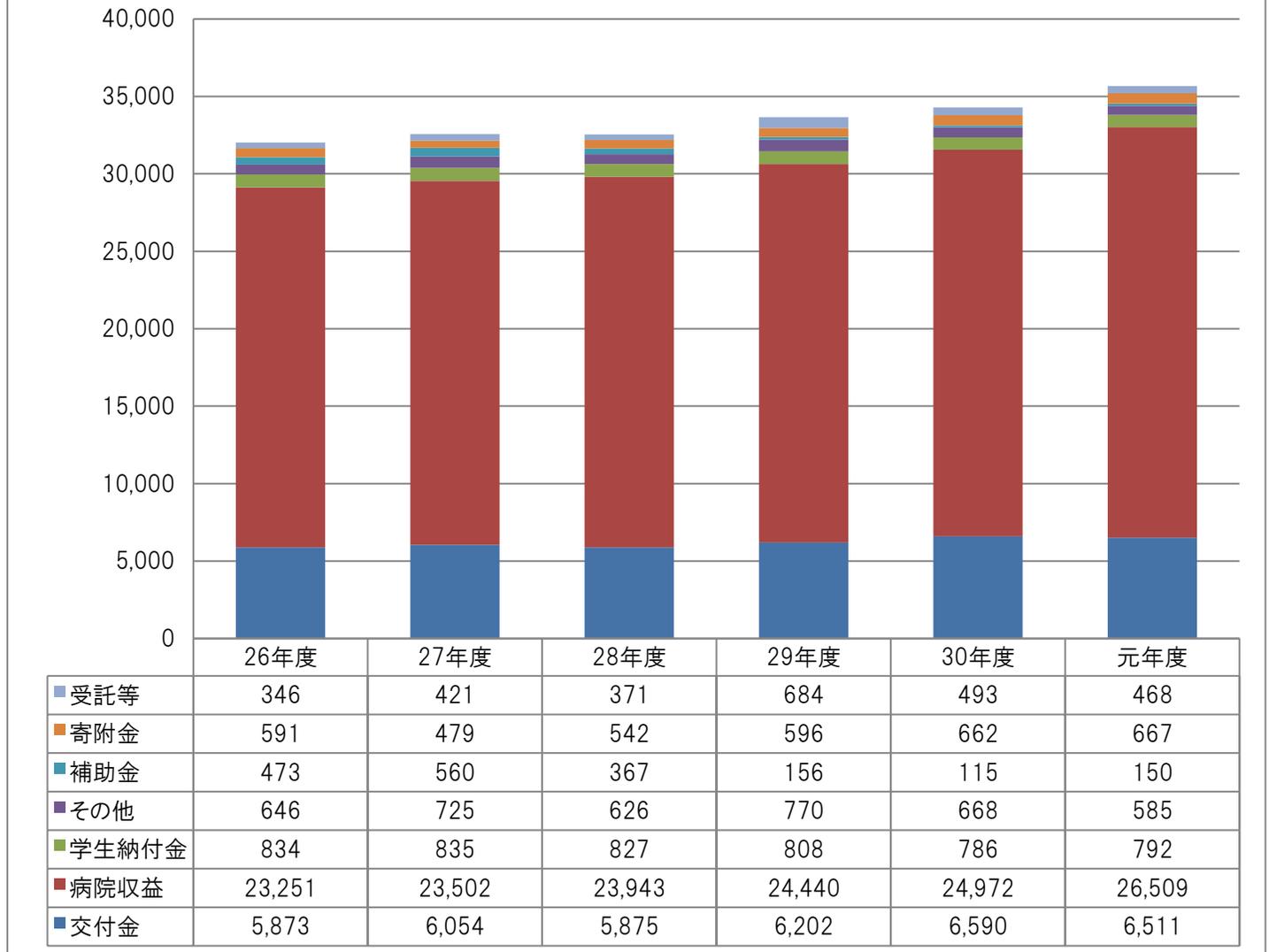


	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
教育経費	477	461	464	619	571	457
教育研究支援経費	431	459	430	421	441	428
受託研究費等	316	375	326	571	437	405
研究経費	1,333	1,421	1,334	1,207	1,242	1,237
診療経費	13,751	13,735	14,175	14,553	15,682	17,120
一般管理費等	473	585	481	513	536	554
人件費	15,079	15,445	15,215	15,646	15,615	15,817

(単位：百万円)

区分	元年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.3%	・ 学生に対し行われる教育に要する経費	▲ 114	・ システム更新費の減▲15 ・ 助産学移転経費の減▲26 ・ 保健医療学部棟改修経費の減▲69
	教育研究支援経費	1.2%	・ 附属総合情報センター（図書館含む）に要する経費	▲ 13	・ 特許権放棄等による費用の減▲16
研究	受託研究等	1.1%	・ 外部から委託を受けて行う受託研究 ・ 民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	▲ 32	・ 受託研究等に係る費用減▲32
	研究経費	3.4%	・ 研究に要する経費	▲ 5	・ 研究に係る費用の減▲5
診療	診療経費	47.5%	・ 大学病院における診療の実施に要する経費	1,438	・ 医薬材料費の増1,220 ・ 減価償却費の増103
管理運営	一般管理費等	1.6%	・ 管理運営に要する経費 ・ 財務費用	18	・ 減価償却費の増25
	人件費	43.9%	・ 一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等（受託に係る人件費は含まない）	202	・ 給与改定等に伴う給与増182 ・ 退職手当の増15

## 経常収益



(単位：百万円)

区分	元年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.3%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	▲ 25	・ 受託研究等の収益化額の減▲25
	寄附金	1.9%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	5	・ 寄附金事業の収益化額の増5
	補助金	0.4%	・ 国、道等からの補助金収益	35	・ 新規補助金獲得による増35
その他	その他	1.7%	・ 研究関連収入（間接経費） ・ 財産貸付料収入 ・ 資産見返負債戻入 ・ 受取利息	▲ 83	・ 施設費収益の減▲98 ・ 雑益の増13 ・ 資産見返負債戻入の増2
学納金	学生納付金	2.2%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	6	・ 大学院生の増に伴う学納金の増6
診療	病院収益	74.3%	・ 附属病院収入（外来・入院）	1,537	・ 入院診療収益の増1,074 ・ 外来診療収益の増455 ・ 文書料収益の増8
交付金	運営費交付金	18.2%	・ 運営費交付金収入	▲ 79	・ 運営費交付金の受入額の減▲81 ・ 資産購入減による収益額の増2

## 利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
経常収益	32,014	32,575	32,551	33,656	34,285	35,682
経常費用	31,860	32,481	32,426	33,531	34,528	36,021
経常利益	154	94	125	126	▲ 242	▲ 339
臨時損益	▲ 3	▲ 5	▲ 116	▲ 3	438	▲ 3
目的積立金取崩	2	0	0	0	0	0
繰越積立金取崩	0	0	0	0	276	199
<b>当期総利益</b>	<b>153</b>	<b>89</b>	<b>9</b>	<b>122</b>	<b>472</b>	<b>▲ 143</b>

### 当期総利益の内訳

(単位：百万円)

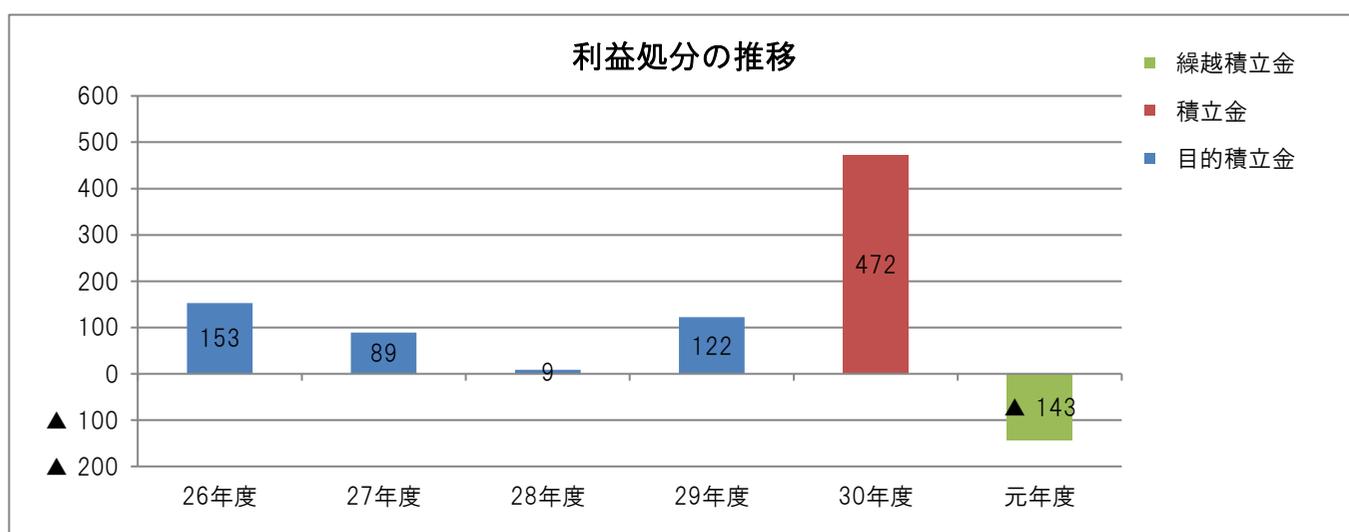
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
目的積立金	153	89	9	122	-	-
繰越積立金	-	-	-	-	-	▲ 143
積立金	-	-	-	-	472	-

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的・繰越積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

また、今期は損失が発生したことから、繰越積立金を減額して対応することとしています。

なお、平成30年度は中期目標期間最終年度のため会計基準に基づき、全額を積立金として整理しています。



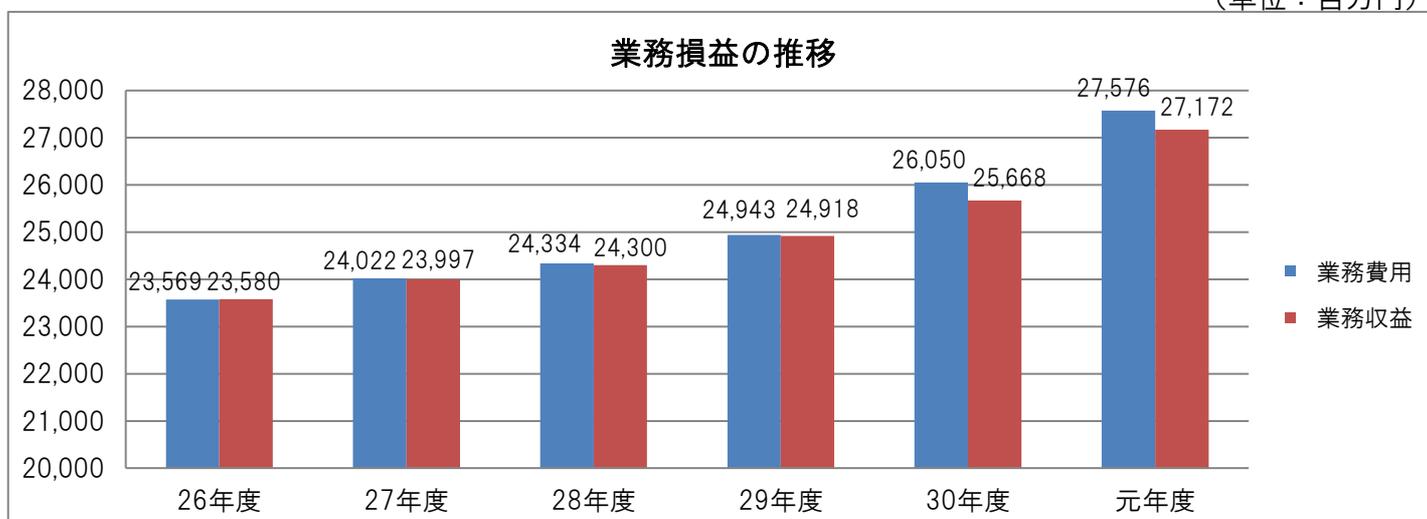
元年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 ▲143百万円	目的積立金 -	-
	繰越積立金 ▲143百万円	・医療材料費の増加による減益 ・光熱水費の増加による減益
	積立金 -	-

## 附属病院業務損益の推移

(単位：百万円)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
業務費用	23,569	24,022	24,334	24,943	26,050	27,576
業務収益	23,580	23,997	24,300	24,918	25,668	27,172
業務損益	11	▲ 25	▲ 34	▲ 25	▲ 382	▲ 404

(単位：百万円)



### 【業務費用】

(単位：百万円)

元年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	99	・ 受託研究費、受託事業費 ・ 財務費用	14	・ 受託研究費等の増15
	0.4%			
人件費	10,357	・ 臨床系教員 ・ 医員、研修医 ・ 看護師、技師、事務職員	74	・ 給与改定等に伴う人件費の増74
	37.6%			
診療経費	17,120	・ 診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	1,438	・ 医薬材料費の増1,220 ・ 減価償却費の増103
	62.0%			

### 【業務収益】

(単位：百万円)

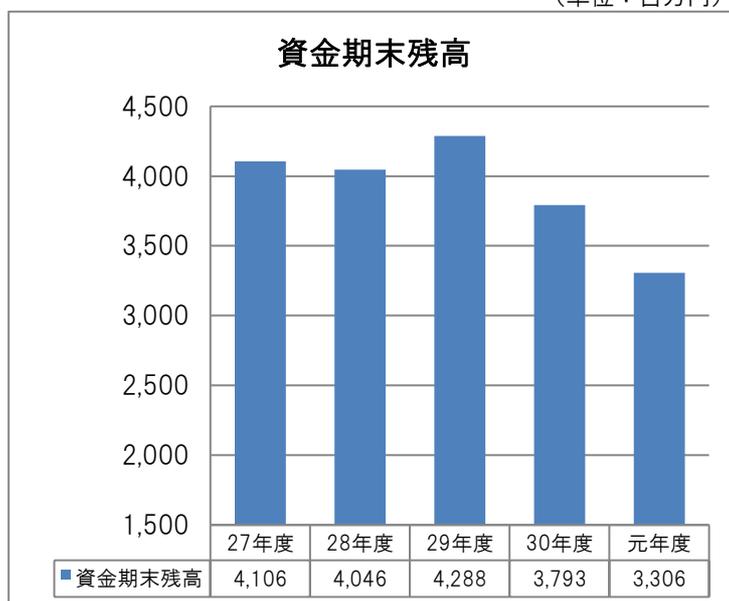
元年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	351	・ 受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・ 資産見返負債戻入等	30	・ 受託研究費等収益の増15
	1.3%			
病院運 営費交 付金収 益	312	・ 附属病院に係る交付金	▲ 63	・ 運営費交付金の受入額の減▲63
	1.1%			
病院収益	26,509	・ 外来収益 ・ 入院収益 ・ 文書料	1,537	・ 入院診療収益増1,074 (入院患者数：257,198人) ・ 外来診療収益増455 (外来患者数：412,683人)
	97.6%			

## キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外）の取引に係る収入と支出の差額	2,005	2,415	1,193	1,454	1,381	1,137
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、授業料、受託研究等、寄附金	31,892	32,312	32,300	32,854	34,308	35,666
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・サービス購入による支出	▲ 29,887	▲ 29,897	▲ 31,106	▲ 31,400	▲ 32,928	▲ 34,529
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額	▲ 329	▲ 1,281	▲ 642	▲ 935	▲ 1,105	▲ 760
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 380	▲ 1,432	▲ 643	▲ 936	▲ 1,107	▲ 761
	(収入) 施設費による収入、資産売却による収入	547	572	585	586	1,093	681
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 927	▲ 2,004	▲ 1,227	▲ 1,522	▲ 2,201	▲ 1,442
	投資資産の取得及び売却の取引	51	151	1	1	2	1
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	3,001	3,291	4,887	1,868	1,859	1,849
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 2,950	▲ 3,140	▲ 4,886	▲ 1,867	▲ 1,857	▲ 1,848
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	▲ 737	▲ 680	▲ 612	▲ 277	▲ 771	▲ 863
	(収入) 長期借入による収入	520	520	520	879	534	634
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,257	▲ 1,200	▲ 1,132	▲ 1,156	▲ 1,300	▲ 1,497
④資金増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金）増減額	939	454	▲ 60	242	▲ 495	▲ 486
⑤資金期首残高	前期末現預金残高	2,713	3,652	4,106	4,046	4,288	3,793
⑥資金期末残高	当期末現預金残高	3,652	4,106	4,046	4,288	3,793	3,306

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

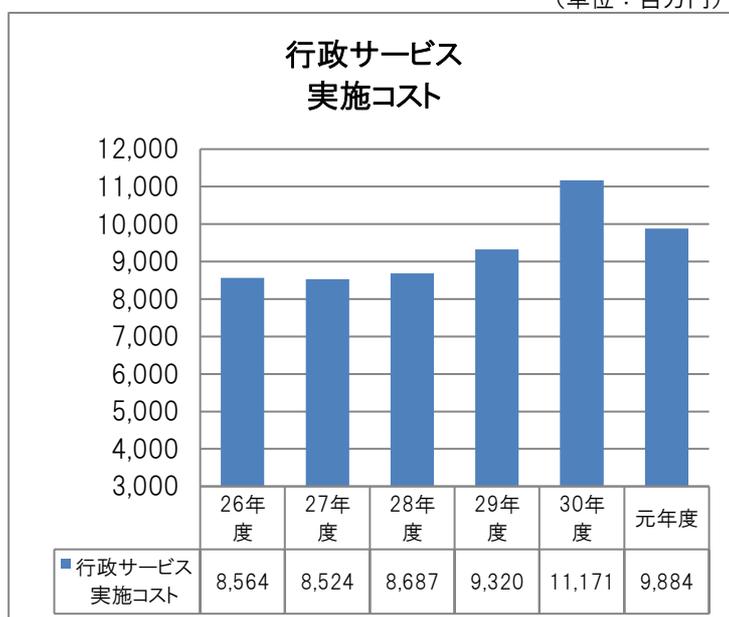
○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

## 業務実施コストの推移

(単位：百万円)

	表示区分	説明	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等（職員宿舎、課外活動敷地など）について、市場価格で賃借したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	112	202	6	519	2,279	1,251
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	129	—	21	14	—	2
損益外減価償却等	・損益外減価償却相当額 ・損益外減損損失相当額等	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には住民等の負担となるため、業務運営費用と認識する。	1,324	1,207	1,235	1,242	1,162	1,370
	・引当外賞与増加見積額 ・引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用（引当金）として反映させないが、最終的には住民等の負担となるため業務運営費用と認識する。	359	144	806	790	356	▲ 50
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	31,863	32,486	32,545	33,540	34,540	36,088
	(控除)自己収入等	自己収入（授業料、病院収益等） ※住民等の負担ではないので控除する。	▲ 25,223	▲ 25,515	▲ 25,925	▲ 26,785	▲ 27,166	▲ 28,777
<b>行政サービス実施コスト</b>			<b>8,564</b>	<b>8,524</b>	<b>8,687</b>	<b>9,320</b>	<b>11,171</b>	<b>9,884</b>

(単位：百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

# ○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	増減（前年比較）	評価	
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	125.5 %	137.4 %	138.5 %	132.5 %	143.0 %	129.6 %	▲ 13.4 %	高い値が良い	↓
	流動資産	8,763 百万円	9,060 百万円	9,343 百万円	10,032 百万円	9,921 百万円	9,107 百万円	▲ 814 百万円		
	流動負債	6,984 百万円	6,592 百万円	6,747 百万円	7,570 百万円	6,938 百万円	7,025 百万円	87 百万円		
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債＋資本（純資産））	75.1 %	76.0 %	75.4 %	72.5 %	71.2 %	74.4 %	3.2 %	高い値が良い	↑
	資本（純資産）	36,572 百万円	35,954 百万円	36,288 百万円	35,711 百万円	35,534 百万円	42,210 百万円	6,676 百万円		
	負債	12,144 百万円	11,378 百万円	11,844 百万円	13,539 百万円	14,348 百万円	14,499 百万円	151 百万円		
	負債＋資本（純資産）	48,716 百万円	47,332 百万円	48,131 百万円	49,250 百万円	49,882 百万円	56,709 百万円	6,827 百万円		
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	0.5 %	0.3 %	0.4 %	0.4 %	▲ 0.7 %	▲ 1.0 %	▲ 0.3 %	高い値が良い	↓
	経常利益	154 百万円	94 百万円	125 百万円	126 百万円	▲ 242 百万円	▲ 339 百万円	▲ 97 百万円		
	経常収益	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	1,397 百万円		
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	48.0 %	48.4 %	47.6 %	47.4 %	45.9 %	44.6 %	▲ 1.3 %	低い値が良い	↑
	人件費	15,079 百万円	15,445 百万円	15,215 百万円	15,646 百万円	15,615 百万円	15,817 百万円	202 百万円		
	業務費	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	1,476 百万円		
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	1.5 %	1.8 %	1.5 %	1.5 %	1.6 %	1.6 %	0.0 %	低い値が良い	-
	一般管理費	464 百万円	577 百万円	474 百万円	508 百万円	536 百万円	554 百万円	18 百万円		
	業務費	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	1,476 百万円		
外部資金比率 【損益計算書】	(受託研究収益＋受託事業等収益 ＋共同研究収益＋寄附金収益) ÷経常収益	2.9 %	2.8 %	2.8 %	3.8 %	3.4 %	3.2 %	▲ 0.2 %	高い値が良い	↓
	①受託研究収益＋受託事業等収益＋共同研究収益	346 百万円	420 百万円	371 百万円	684 百万円	492 百万円	468 百万円	▲ 24 百万円		
	②寄附金収益	591 百万円	479 百万円	542 百万円	596 百万円	662 百万円	667 百万円	5 百万円		
	経常収益	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	1,397 百万円		
外部資金比率 (科学研究費補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	(受託研究収益＋受託事業等収益 ＋共同研究収益＋寄附金収益 ＋科学研究費補助金) ÷経常収益	4.8 %	3.8 %	3.9 %	4.9 %	4.3 %	4.2 %	▲ 0.1 %	高い値が良い	↓
	上記 ①＋②	937 百万円	899 百万円	913 百万円	1,280 百万円	1,154 百万円	1,135 百万円	▲ 19 百万円		
	科学研究費補助金	596 百万円	342 百万円	346 百万円	368 百万円	335 百万円	365 百万円	30 百万円		
	経常収益	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	1,397 百万円		
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	59.1 %	58.4 %	59.2 %	59.5 %	62.8 %	64.6 %	1.8 %	低い値が良い	↓
	診療経費	13,751 百万円	13,735 百万円	14,175 百万円	14,553 百万円	15,682 百万円	17,120 百万円	1,438 百万円		
	附属病院収益	23,251 百万円	23,502 百万円	23,943 百万円	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	1,537 百万円		
1 病床あたりの 附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	24.8 百万円	25.1 百万円	25.5 百万円	26.1 百万円	28.8 百万円	30.3 百万円	1.5 百万円	高い値が良い	↑
	附属病院収益	23,251 百万円	23,502 百万円	23,943 百万円	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	1,537 百万円		
	病床数	938 床	938 床	938 床	938 床	867 床	874 床	7 床		
学生 1 人あたりの 教育経費 【損益計算書】	教育経費÷学生数	354 千円	341 千円	347 千円	474 千円	449 千円	352 千円	▲ 97 千円	高い値が良い	↓
	教育経費	477 百万円	461 百万円	464 百万円	619 百万円	571 百万円	457 百万円	▲ 114 百万円		
	学生数	1,347 人	1,352 人	1,336 人	1,305 人	1,272 人	1,299 人	27 人		
教員 1 人あたりの 研究費 【損益計算書】	研究経費÷教員数	3,409 千円	3,672 千円	3,483 千円	3,079 千円	3,074 千円	3,085 千円	11 千円	高い値が良い	↑
	研究経費	1,333 百万円	1,421 百万円	1,334 百万円	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	▲ 5 百万円		
	教員数	391 人	387 人	383 人	392 人	404 人	401 人	▲ 3 人		
教育経費対 業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	1.5 %	1.4 %	1.5 %	1.9 %	1.7 %	1.3 %	▲ 0.4 %	高い値が良い	↓
	教育経費	477 百万円	461 百万円	464 百万円	619 百万円	571 百万円	457 百万円	▲ 114 百万円		
	業務費	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	1,476 百万円		
研究経費対 業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	4.2 %	4.5 %	4.2 %	3.7 %	3.6 %	3.5 %	▲ 0.1 %	高い値が良い	↓
	研究経費	1,333 百万円	1,421 百万円	1,334 百万円	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	▲ 5 百万円		
	業務費	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	1,476 百万円		

(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

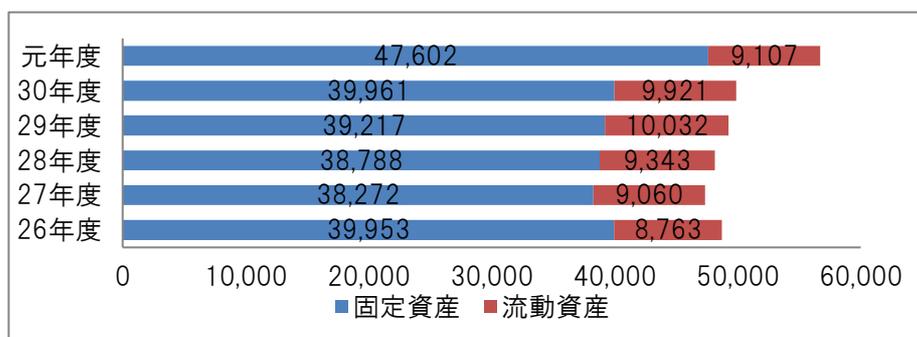
## 資料編



## ○貸借対照表

### 資産の部

56,709 百万円  
対前年度  
6,827 百万円



資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

令和元年度においては、道から旧市道17丁目線（緑道）、附属病院西病棟、教育研究施設Ⅲの出資を受けたことにより、土地・建物等が増加しています。

### 負債の部

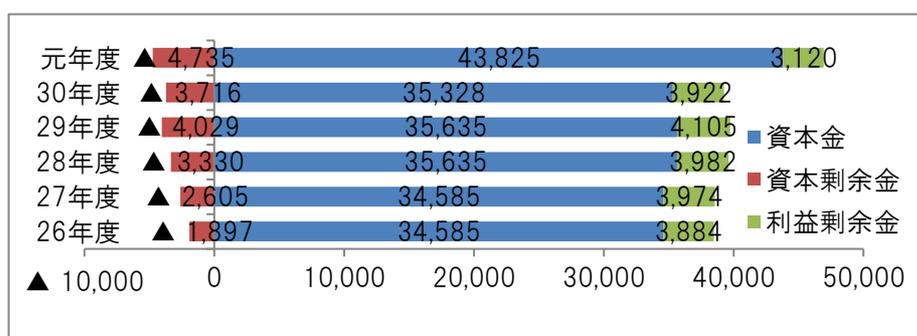
14,499 百万円  
対前年度  
151 百万円



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

### 純資産の部

42,210 百万円  
対前年度  
6,676 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

令和元年度は、道から出資を受けたことにより、資本金が増加しています。

## 資 産

土地	11,881 百万円	対前年度	346 百万円
建物等	28,130 百万円	対前年度	7,291 百万円
建設仮勘定	19 百万円	対前年度	9 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。令和元年度においては、道から旧市道17丁目線（緑道）、附属病院西病棟、教育研究施設Ⅲの出資を受けたことにより、土地・建物等が増加しています

工具器具備品	6,524 百万円	対前年度	15 百万円
図書	857 百万円	対前年度	3 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新していることから、増加となっています。

図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	3,306 百万円	対前年度	▲ 487 百万円
-------	-----------	------	-----------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。令和元年度においては、繰越積立金の取崩や当期総損失が発生したことにより、減少となっています。

未収入金	5,296 百万円	対前年度	▲ 370 百万円
未収学生納付金収入	1 百万円	対前年度	1 百万円
未収附属病院収入	4,778 百万円	対前年度	▲ 130 百万円
その他未収金	517 百万円	対前年度	▲ 241 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

令和元年度末においては、施設整備費補助金の未収額が減少したことなどにより、減少となっています。

## 負 債

資産見返負債	2,632 百万円	対前年度	298 百万円
--------	-----------	------	---------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

借入金（固定負債）	1,608 百万円	対前年度	25 百万円
借入金（流動負債）	610 百万円	対前年度	0 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度借入れを行っています（1年据え置き4年間での償還）。  
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	47 百万円	対前年度	47 百万円
----------	--------	------	--------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。  
なお、平成30年度は、中期目標期間の最終年度となることから、法人化以降の繰越分を全額収益化したことにより、繰越分はありません。

寄附金債務	1,028 百万円	対前年度	▲ 25 百万円
-------	-----------	------	----------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	4,805 百万円	対前年度	▲ 32 百万円
-----	-----------	------	----------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。

## 純 資 産

資本金	43,825 百万円	対前年度	8,497 百万円
-----	------------	------	-----------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 4,735 百万円	対前年度	▲ 1,019 百万円
-------	-------------	------	-------------

非償却資産の取得、施設費や積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	3,120 百万円	対前年度	▲ 802 百万円
-------	-----------	------	-----------

業務に関連して発生した剰余金を示します。令和元年度は当期の未処理損失が143百万円となっています。

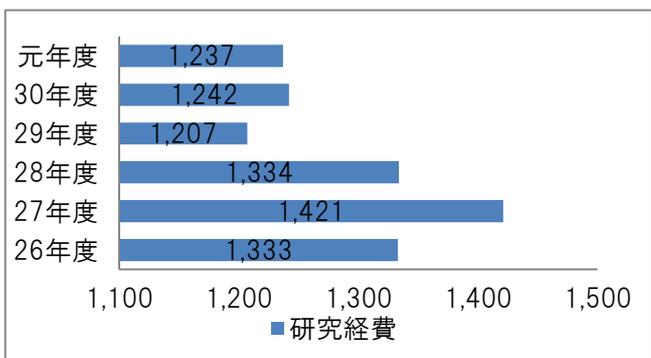
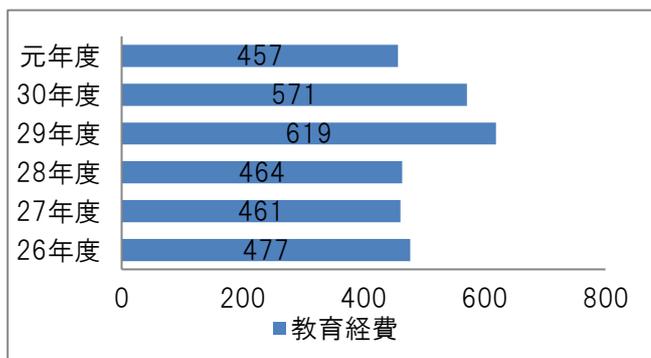
# ○損益計算書

## 経常費用

教育経費	研究経費
457 百万円    対前年度 ▲114百万円	1,237 百万円    対前年度 ▲5百万円

・ 入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学費（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

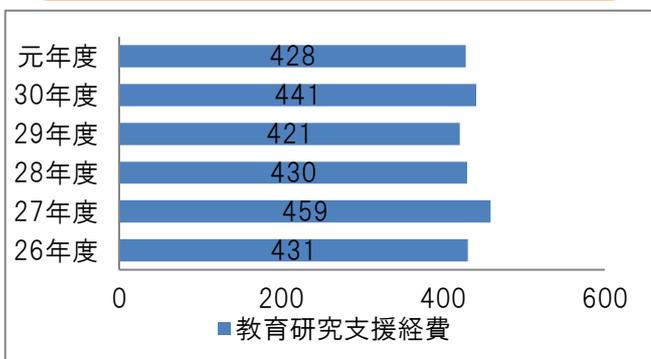
・ 各学部や研究所等における研究に要する経費です。



診療経費	教育研究支援経費
17,120 百万円    対前年度 1,438百万円	428 百万円    対前年度 ▲13百万円

・ 附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。診療活動の活発化による収益増に伴い、経費が増加する傾向があります。  
 ・ 令和元年度は医療材料費等が増加しています。

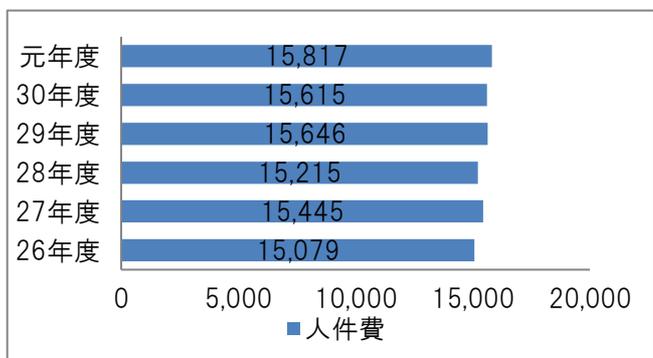
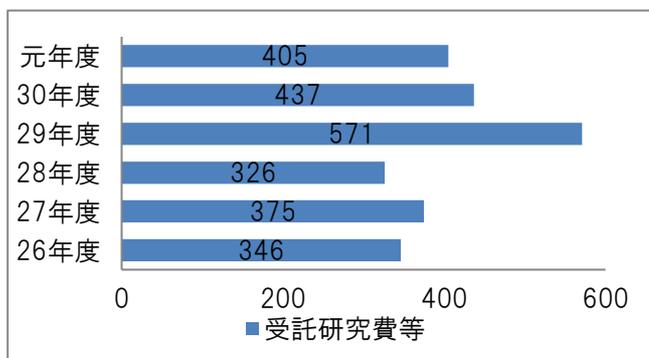
・ 附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書取得については、資産の部の図書に含まれています。



<b>受託研究費等</b>	<b>人件費</b>
405 百万円 対前年度 ▲ 32百万円	15,817 百万円 対前年度 202百万円

・受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

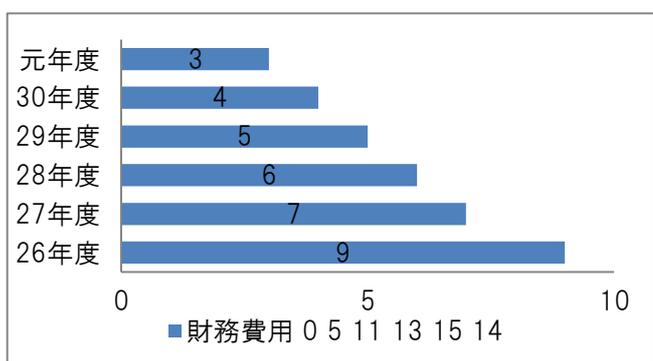
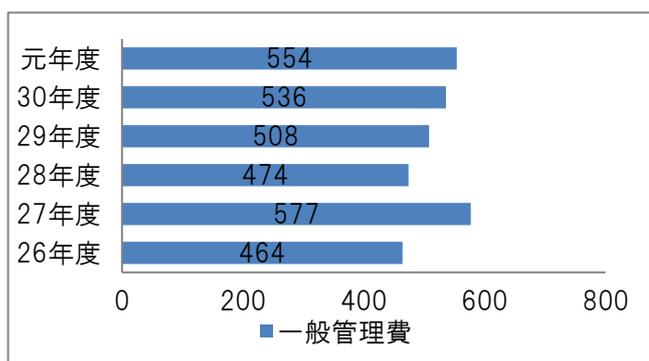
・役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。  
・令和元年度は、給与改定、退職手当の増加により人件費が増加しています。



<b>一般管理費</b>	<b>財務費用</b>
554 百万円 対前年度 18百万円	3 百万円 対前年度 ▲ 1百万円

・大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。

・道からの借入金に係る利息の支払いです。

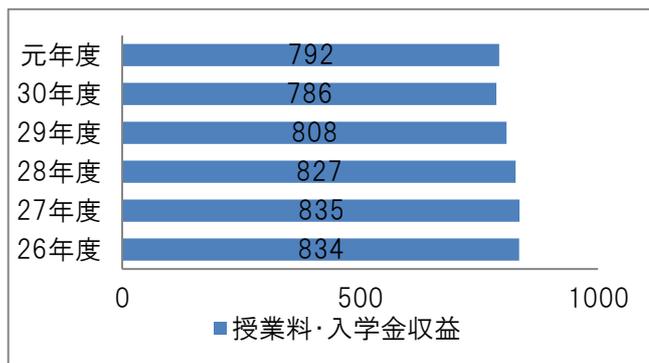
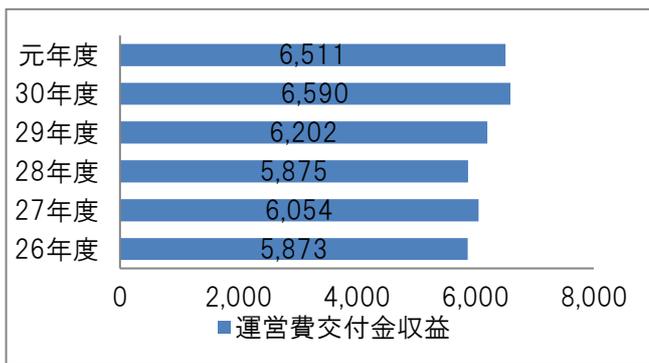


## 経常収益

<b>運営費交付金収益</b>	<b>授業料・入学金収益</b>
6,511 百万円    対前年度 ▲79百万円	792 百万円    対前年度 6百万円

・大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。効率化係数などの影響により、毎年減少傾向にあります。

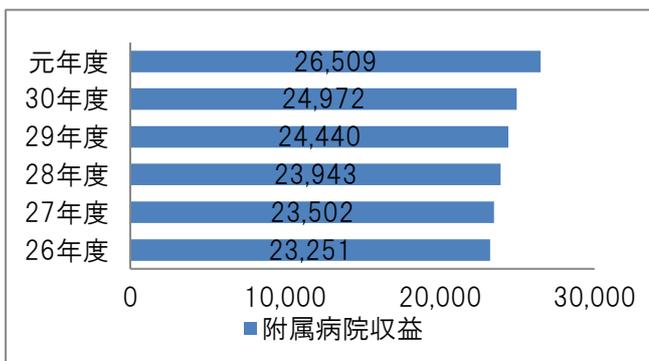
・授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。  
・令和元年度は、大学院生の増加により、収益が増加しています。



<b>附属病院収益</b>	<b>受託研究・寄附金収益</b>
26,509 百万円    対前年度 1,537百万円	1,135 百万円    対前年度 ▲19百万円

・病院における診療による収益です。  
・令和元年度は、前年と比較して患者単価が上昇したことに伴い、診療収益が増加しています。

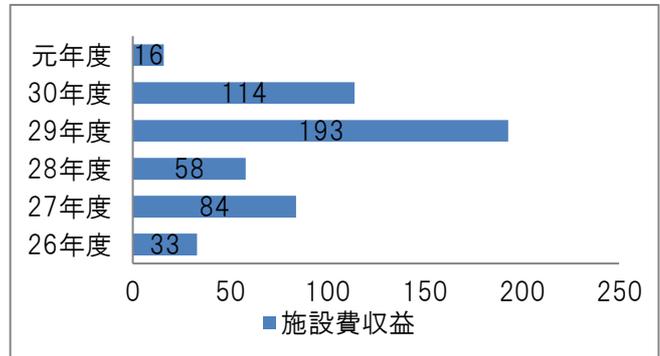
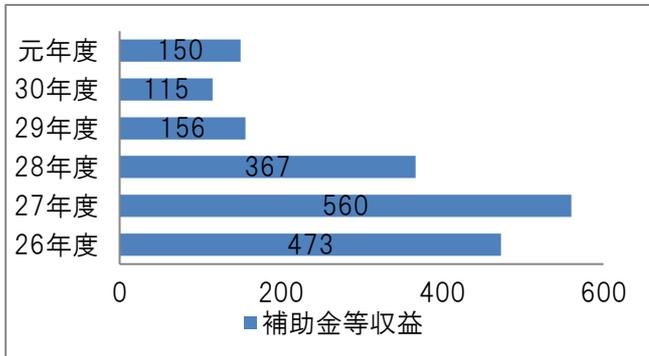
・受託研究、共同研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。  
・令和元年度は寄附金収益、受託事業収益が増加した一方で、受託研究収益が減少しました。



<b>補助金等収益</b>	<b>施設費収益</b>
150 百万円 対前年度 35百万円	16 百万円 対前年度 ▲98百万円

- ・国等から交付された大学改革推進等補助金（GP）等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・令和元年度は、補助事業の増により、収益化額が増加しています。

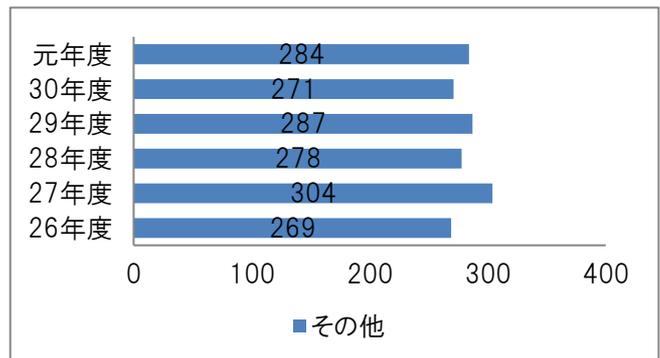
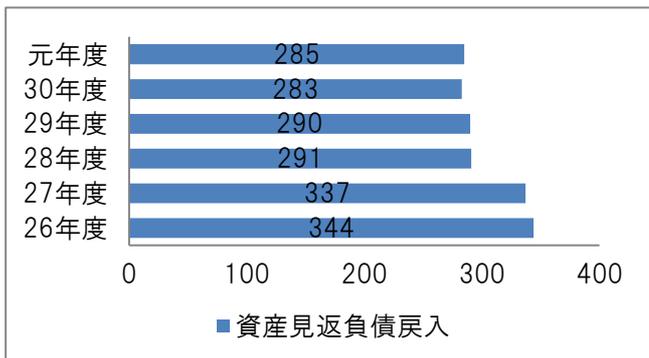
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



<b>資産見返負債戻入</b>	<b>その他</b>
285 百万円 対前年度 2百万円	284 百万円 対前年度 13百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2020

令和2年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局  
経営企画課財務室